

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	上位目標:ダダーブ難民キャンプに住む難民の生活環境を改善する。 達成度:約99% ダダーブ難民キャンプに住む難民747世帯(1世帯平均4名)、計2,988人に仮設住宅を提供し、生活環境を改善した。
(2) 事業内容	本事業では、事業内容に大きな変更をすることなく、予定通り下記の実施手順により実施できた。一方で、事業期間中の2016年5月に政府はダダーブ難民キャンプの閉鎖すること発表したことで事業をめぐる環境は大きく変わった。6月にケニア・ソマリア両政府およびUNHCRによる三者協議が開催され、同年内にダダーブ難民キャンプの人口を15万人削減する共同声明が発表された。これに伴いUNHCRが実施したキャンプ人口の精査や今後の活動内容見直しの影響で、一時当団体の建設活動が中断された。その後、ダダーブ難民キャンプに現在ある5区画のうち2区画を年内に閉鎖する方針がUNHCRより示されたため、年初に策定した建設計画を変更し、閉鎖対象となった2区画で建設予定であった仮設住宅を、来年以降も残留する別区画で建設するなどの変更があった。活動中断で生じた事業進捗の遅れ、及び建設区画の変更に伴い発生する追加業務(各区画での建設数変更の周知、裨益者及び建設グループの再選定等)については、事業期間を延長して対応した。 実施手順 (ア) 事業実施体制の整備 (イ) 裨益者の選定 ・ UNHCR が作成したリストに基づき、当団体现地スタッフを中心に裨益候補者の家庭訪問。裨益者はより脆弱な世帯(母子家庭、高齢者、障がい者等)を優先して選定した。 (ウ) 仮設住宅建設用資材の調達・輸送・加工 (エ) 仮設住宅建設 (オ) 譲渡・モニタリング 仮設住宅の建設では、今まで培ってきた経験を活かし、難民とホストコミュニティが協働して建設した。建設完了後は、世帯主が仮設住宅の維持管理について責任を持つことを明記した譲渡証明書に、世帯主の署名を取り付け、仮設住宅を譲渡した。

(3) 達成された成果	【期待される成果】達成度 99% 目標 755 世帯 (3,020 人、1 世帯平均 4 人) に対し、747 世帯 (2,988 人) が仮設住宅で暮らせるようになり、スフィア・スタンダードで定義される最低限の生活空間が獲得された。 建設できなかった 8 世帯は、キャンプ閉鎖のニュースに対して移設することを決めてしまったため建設できなかった。受益者選定には、UNHCR のリストをもとに、直接訪問しているが、治安状況により、1 か所に長時間とどまれないことから、十分なヒアリングが難しかった。今後は、帰還やキャンプの統廃合による引っ越しも考慮して受益者を選定する。 【成果を測る指標】 ・ 完成した仮設住宅の戸数：747 戸 (99% 達成) 確認方法：事業期間中にモニタリングを行い確認した。 ・ 使用されている仮設住宅の割合：100% 確認方法：居住者が譲渡証明書に署名した難民自身であることをモニタリングで確認した。 【副次的効果】 ・ 感染症や風邪の予防及び害虫からの保護。 ・ 女性が家長の世帯は鍵のかかる空間を得ることにより、プライバシーの確保及び、特に夜間は精神的安定を得ることができた。
(4) 持続発展性	本事業で裨益者に譲渡した仮設住宅は、狭いながらも我が家として難民自身が責任を持って管理することを促しており、裨益者の自助努力向上にも期待している。また、本事業実施によりホストコミュニティに収入創出の機会を提供し、難民との協同建設作業を実施していることから、難民とホストコミュニティの良好な関係維持に寄与している。